

光の祭典 今年も始まる



12月8日に「第19回くるめ光の祭典」とめきファンタジー」が始まりました。久留米シティプラザの六角堂広場で点灯式を開催。来場者のカウントダウンで、明治通りや西鉄久留米駅東口広場などのイルミネーションが一斉に点灯しました。シティプラザ西側の六ツ門テラスや日吉町交差点近くには「光のトンネル」などのフォトスポットもあります。2月18日(日)まで。



藤棚に設置された「光のトンネル」。ライトアップされたカトリック久留米教会もまちなかに彩りを添えます

アビスパ福岡が優勝を報告

12月15日、アビスパ福岡の監督を務める長谷部茂利さんが「YBCルヴァンカップ」優勝の報告に市役所を訪れました。長谷部監督は「皆さんの応援で、チーム一丸となって結果を出すことができました」と感謝を述べました。

アビスパ福岡と市は令和4年に「フレンドリータウン協定」を結び、連携してさまざまなイベントを実施しています。



優勝トロフィーと共に2023年シーズンの報告をした長谷部監督（左）と橋本政孝副市長

暴力団壊滅に向けて決意新たに

12月1日に東町公園で、「暴力団壊滅久留米市民総決起大会」が開催されました。小雨が降る寒空の下、市民の代表や警察、行政職員など約2300人が参加。原口新五市長は「一致団結して暴力団のない安心して安全に暮らせる久留米を目指す」と力強く述べました。

最後に全員でシュプレヒコールを行い、商店街をパレード。暴力団壊滅に向けて決意を新たにしました。



各校区からもたくさんの方が参加し、全員で拳を突き上げました

ボルダリングの魅力や技を伝える

12月9日、ボルダリング教室が専用ジムのインパクト久留米でありました。講師は、「くるめふるさと大使」でスポーツクライマーの緒方良行選手（BIPUMP所属）。小中学生30人が参加し、登り方のコツや体の動かし方の指導を受けました。参加したライランダー海さん（城島小6年）は「また挑戦して、もっと上まで登れるようになりたい」と張り切っていました。



一人一人に指導する緒方さん。初めて経験した参加者も手足の置き方を習いながら登りました

新たなふるさと大使就任

11月1日、モデル俳優の翔さんが「くるめふるさと大使」に就任しました。アメリカ・ロサンゼルス生まれの17歳で、母の出身が久留米市。翔さんは帰省するたびに、インスタグラムで久留米の魅力発信しています。11月21日の就任式で「大好きな久留米を海外にもアピールしていきたい」と語った翔さん。「第19回くるめ光の祭典」の広報アンバサダーにも就任しています。



就任式で原口新五市長（右）から委嘱状を受け取った翔さん

コンビニとエコを推進

11月24日、市はコンビニエンスストアを展開するセブンイレブン・ジャパンとペットボトルリサイクル協定を締結しました。廃ペットボトルから再びペットボトルを作る「ボトルtoボトル」を広げるため、市内55店舗に回収機が設置されます。同社オペレーション本部九州地区ゾーンマネジャーの森田博茂さんは「みんなで力を合わせてリサイクルの輪を広げたい」と話しました。



ペットボトルを投入する原口市長（右）。キャップとラベルを外したものを回収します

市公式 SNS で情報発信中

災害などの緊急情報はもちろん、暮らし、観光、イベント情報など生活に役立つ情報をさまざまな方法で発信中。

ホームページ ライン
 ユーチューブ フェイスブック
 くるっば公式 X (旧ツイッター) くるっばぐらむ

「広報久留米」を多言語で

「広報久留米」を無料アプリ「カタログポケット」で配信しています。英語のほか、韓国、中国（繁体字/簡体字）、タイ、ポルトガル、スペイン、インドネシア、ベトナム各言語に自動翻訳と読み上げもします。

※ QR コードは株式会社デンソーウェーブの商標登録です

TV・ラジオで放送中

KBC テレビ d ボタン

- ①テレビで KBC を視聴
- ②リモコンの「d」ボタンを押す
- ③市の情報を最大 12 項目表示

ドリームス FM (76.5MHz)

- ・ 広報くるめラジオ版 (月～金) 12時5分
- ・ インクルージョンの in 久留米 (土) 14時48分。お笑い芸人が久留米のよかとこを配信

インクルージョン (福岡よしもと)

今月の表紙

石橋文化センターに大きな門松

1月8日(木)まで石橋文化センター正門に高さ約5mの門松が飾られています。訪れた人は見上げながら写真を撮っていました。